



古き町屋に新しく住まうをテーマに整備した旧逸見勘兵衛家



若狭熊谷宿特別委員会による葛つる細工教室



路面の舗装や電線の撤去等で景観に配慮

DATA BOARD 15

- ① 福井県遠敷郡上中町熊川
- ② 面積：108,000㎡
- ③ JR小浜線上中駅からバス15分・若狭熊川下車、北陸自動車道敦賀ICから車で50分
- ④ 若狭瓜割名水公園、瓜割の滝
- ⑤ 白石神社祭礼(5月3日)、松木神社祭礼(10月16日)、西山稻荷神社おひたき神事(春・秋)など



15 若狭鯖街道 熊川宿



熊川宿は、豊臣秀吉に登用され若狭の領主となった浅野長政が交通と軍事において重要な場所であると考え、諸役の免除を行い宿場町として整備したものである。また、若狭鯖街道の名は、若狭で獲れた鯖が京都に運ばれていたことに由来している。

上中町では、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている熊川地区において、歴史的景観の保全と修景を図るとともに、交流・観光の拠点と軸とした地域振興を目的に整備を進めてきた。地区内の町家などについても修景だけでなく、歴史的資産を活かしながら地域住民にとっても住みやすい環境づくりに配慮した整備を行っている。

整備にあたっては、沿道環境保護条例と景観形成ガイドラインを策定し、地域住民の協力を得ながら、伝統的建造物である町家の保存や修景等を図っている。

街道沿いの旧宿場町は、山辺のみちゾーン、宿場のみちゾーン、川辺のみちゾーンと、それぞれに特色を持たせた三つのゾーンにより構成されている。また、旧熊川村役場を利用した熊川宿資料館や道の駅等も開設され、来訪者や観光客に対する配慮も行っている。

熊川宿町並み保存伝統技術研究会による勉強会や若狭熊川宿まちづくり特別委員会による伝統の葛つる細工教室など、独自の地域活動も展開されており、約八十年ぶりに郷土芸能でつせん踊りも復活している。